

教育課程を通して、児童生徒の資質・能力を育成する

基本目標1 確かな学力の育成と、 自己の将来とのつながりを 見通した学びの展開

- 〈測定指標〉全国学力・学習状況調査（小学校6年、中学校3年）において、
- 小学校の学力は全国平均を継続的に1ポイント以上上回る。中学校の学力は全国平均に引き上げる。
 - <小学校>D層の児童の割合は全国の割合を継続的に下回る。<中学校>D層の生徒の割合は全国の割合まで引き下げる。

基本目標2 健やかな体の育成と、 基本的な生活習慣の定着

- 〈測定指標〉全国体力・運動能力、運動習慣等調査（小学校5年、中学校2年）において、
- 小・中学校の体力合計点は、継続的に全国平均を上回る。平成30年度の全国平均値まで改善させる。
 - 総合評価でDE群の児童生徒の割合を、平成30年度の全国平均値まで改善させる。
 - 「中学校を卒業した後、自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたい」と思う生徒の割合が継続的に全国平均を上回る。
- 〈測定指標〉全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙調査（小学校6年、中学校3年）において、
- 規則正しい睡眠や食事などの基本的な生活習慣に関する項目の肯定的割合が全国平均を上回る。

基本目標3 豊かな心の育成と、 多様性・包摂性を尊重する 教育の推進

- 〈測定指標〉全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙調査（小学校6年、中学校3年）において、
- 道徳性等に関する項目の肯定的割合を向上させる。
- 〈測定指標〉児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査において、
- 生徒指導上の諸課題（いじめ、暴力行為）の状況を改善させる。
 - 不登校について、
 - ①1,000人当たりの新規不登校児童生徒数を全国平均以下を維持する。
 - ②不登校児童生徒のうち、学校内外の専門機関等で相談・指導等を受けている割合を向上させる。

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実による 主体的・対話的で深い学びの実現

授業を

PROJECT 01

変える

能力ベースの授業

学校訪問

- 支援派遣訪問（3回程度）
- 指定校訪問
指定事業の教科に関する訪問
- 授業改善プラン訪問
小学校：国語・算数（2回）
中学校：5教科（3回）
- 特別支援教育に関する訪問



授業観の転換

学び場

- 研究主任会（集合研修2回）
- 令和の授業づくり講座
拠点校：14校（教材研究会、授業研究会）
教育DX推進スクール：1校
・クラウドを活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る授業づくり
・授業と授業外学習のシームレス化の研究
- 授業を見る眼を鍛える講座
小学校（2回）
中学校（2回）

人を

PROJECT 02

育てる

組織力向上

学校訪問

- 小学校教科担任制・組織力向上AD訪問（各学期：計3回）
- タテ持ち校への学校訪問
評価訪問（各学期：計3回）
教科会・教科主任会への訪問
- 若年教員育成に係る訪問

小学校教科担任制

若年育成

学び場

- 「幡多」のPioneer授業づくり講座（集合研修4回）
小学校：国語・算数・外国語
中学校：国語・社会・数学・理科・英語
- タテ持ち校の取組推進への支援
主幹教諭連絡会（3回）
教科主任連絡会（5教科：各2回）



子どもの学びや 03 教職員を支える



- # 個別最適な学びと協働的な学び
- # 学びの多様性
- # 1人1台端末の効果的な活用
- # デジタルドリルの活用



- # 生徒指導の4つの留意点
- # 義務教育9年間を見通した指導
- # 保幼小の連携・接続
- # 自ら学び続ける教師



- # 特別支援教育の充実
- # 学校・家庭・地域の連携・協働の推進
- # 安心・安全な居場所づくり
- # 教職員の学びのネットワークづくり